

長雨と日照不足に伴う農作物等の管理対策

令和2年7月22日
新潟県農林水産部

新潟地方気象台が7月22日11時00分に発表した「長雨と日照不足に関する新潟県気象情報第2号」によると、新潟県では、6月25日頃から、曇りや雨の日が多くなっており、降水量が多く、日照時間の少ない状態が続いています。この状態は、今後10日間程度は続く見込みです。

今後の気象情報に注意するとともに、下記の管理対策を参考に農作物等の管理に十分注意してください。

1 水稲

- (1) 水稲の生育は、6月末以降の日照不足及び多雨により、長草・軟弱傾向にあり、褪色は緩慢となっている。
- (2) 梅雨明け後の高温に備えて、晴れ間を逃さず、地域の農業普及指導センターやJA等の技術情報に基づき適正量の穂肥を確実に施用する。また、葉色の推移に注意し、出穂期の葉色が指標値を下回ると想定される場合には、追肥を検討する。
- (3) 葉いもちの発生リスクが高い生育状況になっている。発病に注意し、遅れずに防除を行う。
- (4) 大雨時は、河川への影響を考慮し、水尻は完全に落とさず、一定水位を保った上での排水に努める。

2 大豆

- (1) 県内の大豆の生育は、6月末以降の日照不足及び多雨と、中耕・培土作業が遅れた影響で、生育が停滞傾向で、葉色はやや薄い状況である。また、滞水が著しい一部のほ場では湿害による葉の黄化症状並びに生育遅延が見られている。
- (2) 今後の長雨に備えるため、明渠に「つまり」や「くずれ」がないかチェックするとともに中耕・培土後の溝と明渠及び明渠と排水口の接続を確実にを行う。また、畦間の排水が不十分なほ場は、畦間の溝を最低1～2本確実に明渠に連結するとともに、短辺方向に畦間を連結する小排水溝を通すなどして、可能な限り排水に努める。
- (3) 湿害による葉の黄化や生育不良などの症状が見られる場合は、ほ場が乾き次第、速効性肥料を窒素成分で10a当たり2～3kg程度を追肥する。
- (4) ほ場が乾いたら、開花始めまでに中耕・培土を早急を実施する。
- (5) 中耕・培土が遅れているほ場や、浸・冠水を受けたほ場では、雑草害が懸念されるため、必要に応じて雑草生育期の除草剤を適正に散布する。

3 そば

- (1) 排水対策～耕耘、は種作業は、作業精度・播種精度の低下を避けるため、極力天候の回復を待ち、土壌水分が下がってから行う。

3 園芸共通

- (1) 長雨や豪雨による滞水で湿害が懸念されるので、速やかに排水ができるよう、再度明渠や排水口を整備する。
- (2) ほ場内に停滞水がある場合は、根腐れ等の原因となるため、早急に排水する。

4 野菜

- (1) きゅうり、トマトなどの施設栽培
 - ア 日照不足の影響で、育苗中の苗及び定植間もないほ場は、軟弱徒長となりやすいため、換気と適度のかん水を行う。
 - イ 生育中の草勢の維持を図るため、適度のかん水と追肥を行う。
 - ウ 日照不足が続いた後に急速に天候が回復した場合は、高温障害が発生しやすいので、急激な温度上昇のないよう遮光や換気などを行い、適切な温度・湿度管理に努める。
 - エ うどんこ病等病害が発生する恐れが高まるので適切に防除する。ただし、幼苗期は薬害を生じやすいので、薬剤の選定や濃度に十分注意する。
- (2) えだまめ
 - ア 多雨と日照不足によって軟弱徒長し倒伏が懸念される場合は、開花前に先刈りを行い倒伏を防止する。
 - イ 排水不良ほ場を中心に、茎疫病の発生が見られていることから、防除を行うとともに罹病株をほ場外へ出す。あわせて、黒根腐病の罹病株もほ場外へ出す。また、多湿条件が続くと莢に炭疽病や赤かび病の発生が懸念されるため遅れずに防除を行う。
 - ウ 集中豪雨等により一定時間湛水状態になると、葉色の低下や根毛の消失などの影響が出るため、排水後は追肥の土壌散布か葉面散布を行う。また、梅雨明け後、高温により草勢低下による食味低下も懸念されることから、草勢維持確保のため、収穫前追肥は必ず行う。
- (3) ねぎ
 - ア 葉枯病などの病害が多発傾向にあるので、晴れ間を見て防除する。
 - イ 梅雨明け後の高温時に一度に多量の土寄せを行うと、断根してその傷口から軟腐病菌が侵入するので注意する。
- (4) アスパラガス
 - ア 日照不足の影響で、収穫する若芽の色が淡くなっているため、適正立茎数を維持するとともに、下枝の整理を徹底する。
 - イ 茎枯病等病害が発生しやすくなっているため、晴れ間を見て防除する。ただし、薬害防止のため、葉や若芽が濡れた状態では浸透性の高い薬剤を散布しない。
 - ウ 梅雨明け後に乾燥が続いた場合は収量が低下するので、チューブかん水や畦間通水により少量ずつこまめにかん水する。
- (5) すいか・メロン
 - ア 炭疽病、疫病が発生しているため、的確に防除するとともに収穫作業は病害果の混入を防ぐため、果実表面をよく観察しながら行う。
 - イ すいかは、日照不足が続いた後に高温・強日射となると日焼け果の発生が懸念されるため、露出している果実はワラやつるなどで覆う。

(6) なす等露地の果菜類

ア 日照不足や長雨等の影響で草勢が低下している場合は、草勢回復を図るため、摘果や液肥等の葉面散布を実施する。

イ 露地の果菜類は、梅雨明け後の強い日射により果実の日焼けや草勢の低下が懸念されるので、しおれ症状が見られる場合は、若もぎにより草勢回復等を図る。

ウ 灰色かび病等の病害が発生しやすいので罹病果・罹病葉の除去など耕種的防除を徹底するとともに、晴れ間を見て防除する。

5 果樹

(1) かき

日照不足により生理落果の発生が懸念されるので、仕上げ摘果を早めに実施し、葉果比の適正化を図り、生理落果の発生軽減に努める。

(2) なし

新梢の間引きや誘引により、通風と受光体勢の改善を図る。

(3) ぶどう（巨峰）

着色期に入ったハウス作型では、日照不足により着色進展の遅れが懸念されるので、新梢の間引きや摘心により棚面の明るさを確保するとともに、必要に応じて摘房摘粒を実施し適正着果に努める。

(4) もも

果実肥大と着色促進を図るため、新梢の間引きや誘引及び骨格枝の誘引や枝つりにより受光体勢の改善に努める。有袋栽培では、今後も日照不足が続くと想定される場合は、除袋及び反射マルチ敷設を通常より早めに実施する。

(5) 病虫害防除

かきの落葉病、なしの黒星病、ぶどうの灰色かび病、ももせん孔細菌病等の発生が懸念されるので、適期に防除する。

6 花き

(1) チューリップ、アイリスなど収穫後の球根

湿度が高まると球根腐敗病や青かび病等の発生が助長されるので、送風等により乾燥を徹底し、できるだけ風通しの良い場所で本乾燥する。

(2) ユリ切花

日照不足が続いた後に急速に天候が回復するなど、温度や湿度が急激に変化した場合は、葉焼けなどの生育障害が発生しやすくなるので、遮光や換気などを行い、適切な温度・湿度管理に努める。

(3) 露地切花類

病虫害の発生しやすい条件となるので、晴れ間を見て防除を徹底する。

(4) 施設切花・鉢花

長雨・日照不足による生理障害の発生を防止するため、換気・送風等による施設内の湿度低下を促進するとともに、病虫害防除を徹底する。

7 畜産

(1) 家畜管理

長雨による湿度上昇でカビが発生しないよう、飼料は風通しの良い場所に保管する。

(2) 飼料作物

ア 雨水の滞留が長期間にわたり認められる場合は、周囲明きょや、勾配と平行な溝掘りで排水対策に努めるとともに、次期作での排水対策に活かすため記録を整備する。

イ 収穫時期を迎えた牧草(2番草)については、梱包の際に土砂が混入しないよう、天候の回復を待って刈り取りを行う。

ウ また傾斜のあるほ場での作業に際しては、地盤が緩んでいる可能性があるため、トラクターの運転操作は慎重に行う。

エ 明らかな湿害を受け、生育不良や葉色の黄変が見られる飼料用トウモロコシは、収量確保のため、窒素成分で2～3kg/10aを動噴で施用し、収穫までの生長を促す。

8 きのこと

【事前対策】

(1) 施設栽培のきのこ

施設等への雨水の浸水を防ぐとともに、資材類を安全な場所に移動する。

(2) 自然栽培のきのこ

ア 日照不足により、椀木、菌床の積算温度が不足することが考えられるため、ハウス管理等により温度確保を図るとともに、発生前には試し浸水等を行う。

イ 夜間の気温低下により、自然発生することが考えられるため、ハウス管理等により温度確保を図る。

(3) 原木しいたけ

本伏せ中の椀木は、天地返しの際に害菌等の発生を抑えるため、通風を図るように鳥居やムカデで組む。

【事後対策】

(1) 施設に被害があった場合は、速やかに復旧し、きのこの生育環境を確保する。

(2) 浸水した施設の電気設備は、起動前に十分な点検を行い、漏電事故が発生しないよう注意する。

(3) 浸水した培養・発生・生育物は速やかに施設外へ搬出し処分する。

(4) 浸水した施設は、空にして水で泥等を洗浄し、残留性のない薬剤で除菌する。

9 漁業全般

【事前対策】

早めの情報入手に心がけ、長雨や大雨が予想される際には漁具や飼育池等の管理に十分留意し、厳重に警戒するよう組合員へ周知する。

【事後対策】

(1) 河川から流出した流木などが港内や海上を漂流している場合があるため、出入港、操業時は、周囲の安全を十分確認し、漂流物に接触しないよう注意しながら航行する。

(2) 係留している漁船・漁具や飼育池等を確認する際は、安全を確保した上で実施する。